

# 公益財団法人 千葉県教育振興財団

社会学部現代社会学科  
2年 笹内 真

## 1. 実習企業（団体）の概要

財団は千葉県民の教育・スポーツ・文化活動を応援している。文化財センターでは、千葉県内における遺跡等埋蔵文化財の調査や文化財保護思想の涵養・普及を図り、県民の生活向上と地域文化の充実に寄与することを目的に活動している。

・法人設立 昭和49年11月1日 (財)千葉県文化財センターとして千葉県教育委員会より設立許可

平成17年 9月1日 (財)千葉県教育振興財団に名称変更

平成24年 4月1日公益財団法人に移行

・本部 千葉県四街道市鹿渡 809 番地-2

・理事長 平林 秀介

## 2. 実習内容

埋蔵文化財発掘調査を行い、専門的な埋蔵文化財の取り扱い方および埋蔵文化財保存について研修する。

## 3. 実習の成果

埋蔵文化財発掘調査のインターンシップに参加し、社会的なビジネスマナーを学びました。特に、挨拶や連絡業務の相談、報告などできるようになりました。この財団では、新しい建築物を建設する前に、発掘調査を行い、その場所がどのような歴史を持つ場所なのか、また、保存する必要がある遺跡があるのかなどを調査する重要な役割を担っていることが理解できた。業務知識では、発掘調査方法、地層の見方、地層の記録方法について学びました。また、専門の道具の扱い方や文化財の保存処理(水洗、注記、拓本)のスキルを身につけました。協働作業では、周りの人々と連携を図ることや、タイミングをあわせる事、時間を守ることの重要性も学びました。この仕事は、歴史を守り、次の時代の人に伝える大切な仕事だと思いました。

## 4. 実習の感想

私は、このインターンシップで様々なことを経験しました。特に、ビジネスマナー、挨拶の仕方、言葉遣いなど、社会人としてのマナーや、基本的な知識に関して、特に注意を払い、気を付けました。そして、分類・注記・水洗・拓本という作業を研究所で体験しました。研究所で働く補助員さんたちは、とても優しく丁寧に教えてくださいました。今回、縄文土器に初めて直接接触れ、とても感動しました。しかし、縄文土器の取扱いは難しく、水洗の際に、土と共に土器の端の部分が粉のように崩れてしまうこともあり、とても苦労しました。小さな破片と破片を文様にあわせて組み合わせ、一致した時も大変感動しました。また、当時の人が描いた文様が、いろいろあることを知り、面白いと思いました。今度は、鉄器とか太刀、土偶なども発掘してみたいと思いました。 そのほか、このインターンシップで勉強したことは、働くことに対して「自分から学ぶ」ということで、その重要性に気づかされました。 仕事の上は、責任を持たなければならない場面もあり、緊張しましたが、失敗を恐れずに初めてのことでチャレンジしてみるということが重要だと思いました。

日数	実習日	実習内容
1日目	8月23日(火)	柏作業所での作業(分類、注記、水洗、拓本など)
2日目	8月24日(水)	埋蔵文化財発掘現場
3日目	8月25日(木)	埋蔵文化財発掘現場
4日目	8月26日(金)	埋蔵文化財発掘現場
5日目	8月29日(月)	埋蔵文化財発掘現場